

授業科目 検査測定評価学実習

科目コード番号

【担当教員名】 ○小林量作・高木昭輝・牧田光代・相馬俊夫・ 非常勤講師	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要及び学習目標】

<概略>

本授業では、前期で学んだ「検査測定評価学」を臨床実習で活用できるよう、実施技術の習得に結びつける。実習の内容は「検査測定評価学」と同様の項目で行う。全ての項目で、学生同士が検査者と被検者になり実習するので、実際場面を想定して緊張した中で実習することが必要である。実施技術はくり返し練習することによって身に付くので、授業終了後に何回も練習することが必要である。

<学習目標>

- ①理学療法検査測定の基本的技術を習得する。
- ②各種の検査測定の実施上の留意点を考慮して学生同士で実施できる。
- ③各種の検査測定を模擬患者に実施できる。
- ④検査測定の結果より問題点を抽出できる。

回数	学 習 の 主 題	学 習 内 容	学習方法
1	身体計測	四肢長や四肢・体幹の周径などを測定する。	実習
2	"	"	"
3	関節可動域検査 上肢	上・下肢、体幹、手指の関節可動域を測定する。	"
4	"	"	"
5	" 下肢	"	"
6	"	"	"
7	" 体幹、手指	"	"
8	"	"	"
9	" 柔軟性検査	多関節筋の flexibility test を実施する。	"
10	筋力検査 上肢	上・下肢、体幹、手指、顔面の徒手筋力検査を測定する。	"
11	"	"	"
12	" 下肢	"	"
13	"	"	"
14	" 体幹	"	"
15	"	"	"
16	" 手指、顔面	"	"
17	"	"	"
18	感覚検査	表在覚や深部覚の検査を実施する。	"
19	"	"	"
20	反射検査	腱反射、病的反射の検査を実施する。	"
21	脳神経検査	脳神経検査を実施する。	"
22	協調性検査	四肢体幹の協調性検査を実施する。	"
23	筋緊張検査	四肢の筋緊張検査を実施する。	"
24	姿勢・動作分析	姿勢の分析、基本的動作の分析を実施する。	"
25	"	"	"
26	"	"	"
27	まとめ	模擬患者を想定し、これまでに習得した検査を実施する。	"
28	"	"	"

【評価方法】

実技試験と定期試験

【履修上の留意点】

毎回、動きやすい服装（短パン、Tシャツ）になれるように準備しておく。

【使用図書】

教科書・参考書等	書 名 等	著 者 名	発 行 所	発行年・価格・その他
教科書	理学療法評価法 新・徒手筋力検査法（訳本） ベッドサイドの神経の診方		松澤 正 著 津山直一 訳 田崎義昭・他著	金原出版 協同医書 南山堂
参考書	Muscle Testing and Function(4th)		F.P Kendall	Williams & Wilkins
その他 (プリント等)				